

「日本の経済力、第30位？」

外国人観光客が増えています。天神でも多くの外国の方々を見かけます。なぜこれほど増えているのか。日本への旅行は安いからです。もちろん日本の魅力、安心安全、円安傾向などありますが、「安い」ことが観光客を後押ししているのは間違いありません。こう考えると少し複雑な気持ちになります。

日本は世界第三位の経済大国ですが、一人当りの経済力ではかなり違う姿が見えてきます。

◇2022年 一人当り名目GDP

日本：約3.4万ドル（30位）、米国：約7.6万ドル（7位）

20年前はどうだったか。

◇2002年 一人当り名目GDP

日本：約3.3万ドル（6位）、米国：約3.8万ドル（4位）

2002年私が米国留学していた頃はNYの日本ラーメン+餃子で1500円程度だったと記憶しています。今やNYではラーメン1杯約3000円と聞きますので、物価は二倍ぐらいになっている感じです。この値段自体は驚きですが、一人当りの経済力から購買力の格差がうまれているのは頷けます。

日本の後ろを振り返ると、台湾約3.3万ドル、韓国3.2万ドル（2022年一人当りGDP）と殆ど並ばれています（20年前は日本の約3分の1）。世界は成長しているのに、日本だけが取り残されているように思えます。経済力は国力の支柱であり、このままでは日本は沈んでいく強い危機感を覚えます。この20年間日本人がサボっていたわけではありません。懸命に働いてきました。なぜこのように日本経済だけが停滞を続けているのか。

政治のかじ取りが間違っていたのです。この20年のほとんどの間政権を担ってきた自民党政権は、経済対策には力を注いできました。日本の借金はこの間2倍以上に膨れ上がりました。しかし、政府がよく言う「成長戦略」は、うまくいかなかったのです。

経済を立て直し日本の国力をどう高めていくのか、次回以降のかわら版で私の考えを述べたいと思いますし、皆様のご意見いただければ幸いです。

暑い日が続きます。くれぐれもご自愛ください。